



京島地区
まちづくり協議会の歩み



平成23年3月

「京島地区まちづくり協議会の歩み」発刊にあたって

昭和 56 年の京島地区まちづくり協議会設立から早 30 年が経ちました。この間、協議会は当初の目的であるまちづくりの事業推進をはじめ、様々な活動を幅広く行ってきました。

私は、平成 4 年度から共栄会のメンバーとして協議会活動に参加し、工業部会と連携しながら、こどもまつりやリサイクル展の開催、オリジナル製品の開発など、様々な経験をさせて頂きました。このような活動は、委員の皆さんと楽しみながら行っていくことができました。今後も、協議会のまちづくり活動は、楽しみながら継続していけるものでありたいと考えています。

また、これからのまちづくり協議会は、町会組織の枠を超えた地域コミュニティの橋渡しをする役割を担っていきたいと考えています。“京島らしさ”とは、地域のつながりや暖かさの中にあると思います。地区内の 7 町会の連携に加え、若い人材の発掘・参加など、新たなつながりをつくりながら、協働の楽しみと継続性を持って、協議会が地域に貢献できるあり方を検討していきたいと思っています。



京島地区まちづくり協議会
会長 阿部 義栄

— 目次 —

はじめに	1
まちづくり協議会の活動の概略（昭和 56 年度～平成 11 年度）	2
まちづくり協議会の活動の概略（平成 12 年度～平成 22 年度）	4
計画部会からみる京島のまちづくり	6
商業部会からみる京島のまちづくり	8
工業部会からみる京島のまちづくり	10
女性部会からみる京島のまちづくり	12
地域活動促進部会からみる京島のまちづくり	13
事業実績のまとめ	14
歴代メンバーからのメッセージ	16

はじめに

京島二・三丁目地区は、関東大震災後に急速に市街化が進んだまちですが、幸いにも戦災を免れたために、昔ながらのまちと社会が大きな変化を受けることなく今日まで残されています。このような京島の歴史は、独特の親しみやすい生活空間をつくりだしましたが、一方では建物の老朽化をはじめとする防災上の問題を生みだしています。

こうした中で、昭和53年度に実施された東京都の意向調査をきっかけとして、まちづくりの機運が盛り上がり、昭和55年6月、地元・東京都・墨田区の三者による「京島地区まちづくり検討会」が発足しました。検討会は、一年足らずの間に延べ12回開催され、熱心な討議の結果、まちづくり計画案を提案するに至りました。翌年には、「京島地区まちづくり協議会」が発足し、今日まで京島地区のまちづくりを担っています。

この小冊子は、これまでの協議会の歩みを記録するとともに、今後の京島地区のまちづくりを考えていくための基礎資料として作成しました。

■京島地区まちづくり協議会設立までの歩み

	年度	月日	取組事項
行政による調査の段階	昭和49年度		「墨田区京島調査報告」(東京都企画調整局)
	53年度		まちづくり意向調査(東京都住宅局)
	55年度	1~4月	まちづくり説明会(12箇所)
検討会による提案の段階	昭和55年度	6.4	「京島地区まちづくり検討会」発足(於:太陽神戸銀行吾嬬町支店ホール)
		7.22	第2回まちづくり検討会(於:太陽神戸銀行吾嬬町支店ホール)
		8.6	第3回まちづくり検討会(於:太陽神戸銀行吾嬬町支店ホール)
		8.25	第4回まちづくり検討会(於:太陽神戸銀行吾嬬町支店ホール)
		8.29	まちづくりニュースNo.1発行 各町会を通じて全戸に配布
		9.24	第5回まちづくり検討会(於:三光信用金庫本店ホール)
		10.16	第6回まちづくり検討会(於:太陽神戸銀行吾嬬町支店ホール)
		10.27	三商店街との意見交換会
		11.11	第7回まちづくり検討会(於:太陽神戸銀行吾嬬町支店ホール)
		11.26	第8回まちづくり検討会(於:三光信用金庫本店ホール)
		12.12	第9回まちづくり検討会(於:三光信用金庫本店ホール)
		1.23	第10回まちづくり検討会(於:三光信用金庫本店ホール)
	2.2	ニュースNo.2発行 まちづくり計画案の提案	
	2月	まちづくり説明会(7箇所)	
	3.26	第11回まちづくり検討会(於:三光信用金庫本店ホール)	
56年度	4.27	第12回まちづくり検討会(於:三光信用金庫本店ホール)	
	5.1	ニュースNo.3発行 「(仮称)京島地区まちづくり協議会」設置を提案	



まちづくり検討会の様子
熱心な議論が何度も行われました。

まちづくり協議会の活動の概略(昭和56年度～平成11年度)

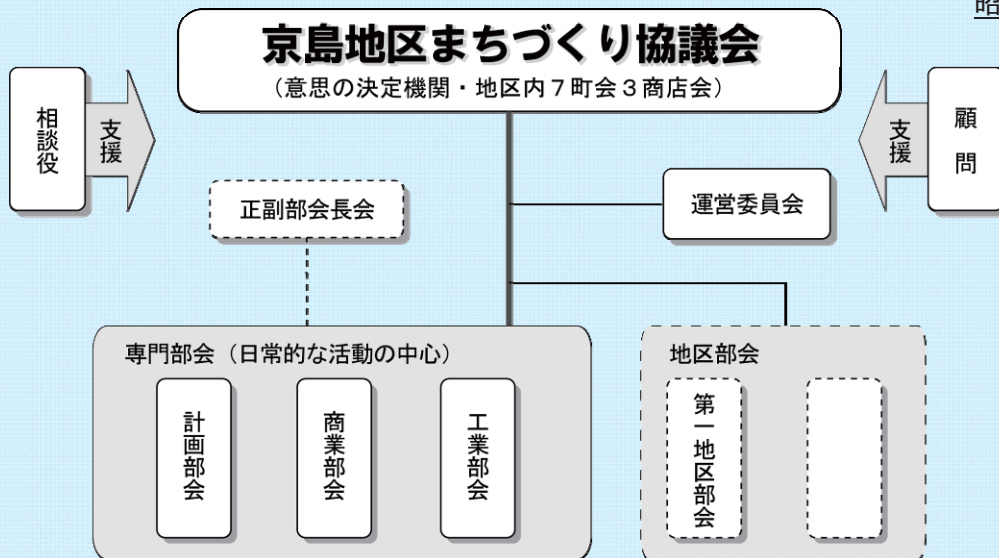
京島まちづくりのはじまり
(昭和56～平成3年度)

年度	月日	取組事項
昭和56年度	6.19	ミニニュースNo.1発行
	6.23	第1回まちづくり協議会(於:三光信用金庫 本店ホール)
	7.31	第1回計画部会(於:仲俣会長宅)
	8.5	第1回商業部会(於:仲俣会長宅)
	8.7	第1回工業部会(於:三光信用金庫 本店ホール)
	12.4	第4回まちづくり協議会(協議会案を計画の大枠とすることに合意)
57年度	7.12	第6回協議会 京島まちづくりセンター開所式
	9.1	(財)墨田まちづくり公社 業務開始
	2.15	NHK教育TV京島地区紹介
58年度	4.21	京島地区住環境整備モデル事業大臣承認
61年度	12.12	京島工業かわら版第1号発行
平成元年度	11.11～12	京島まつりの開催
3年度	5.26	京島子どもまつりの開催
	11.9～10	京島文化祭の開催
昭和56～平成3年度の主な活動実績		まちづくり協議会 第1～38回 (計38回) 計画部会 第1～53回 (計53回) 商業部会 第1～26回 (計26回) 工業部会 第1～41回 (計41回) まちづくりニュース No.4～9発行 (計6回) ミニニュース No.1～30発行 (計30回) 京島工業かわら版 第1～8号発行 (計8回)

京島まちづくりの継続に向けて
(平成4～11年度)

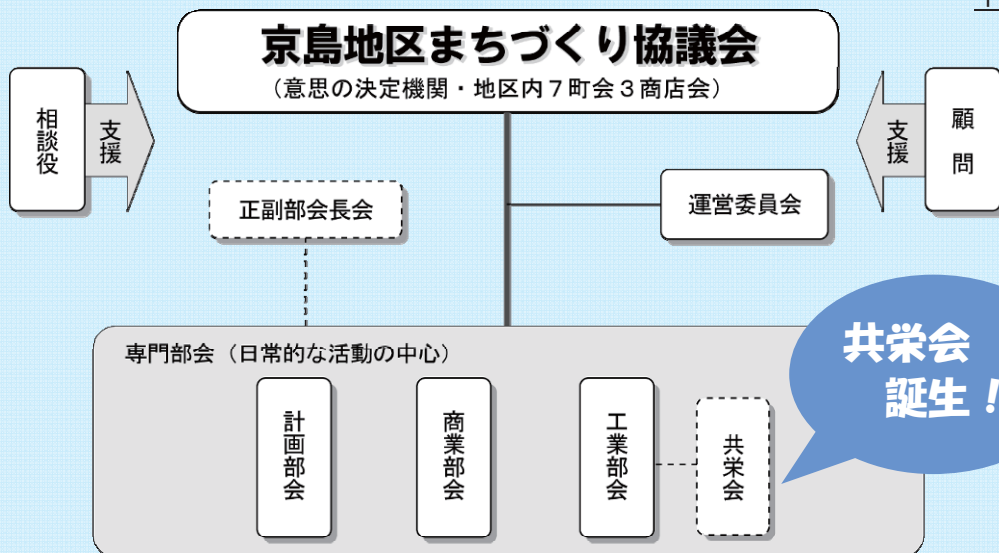
年度	月日	取組事項
平成4年度	11.26	第1回共栄会(工業の後継者グループ)
5年度	5.28	(社)全国市街地再開発協会“まちづくり功労団体表彰”受賞
	8.3	“まちづくり功労団体表彰”受賞祝賀会(区長・理事長より感謝状贈呈)
	1.16	京島製品展・リサイクル展
6年度	4.19	“雨水を利用できる小広場”オープニングセレモニー
	12.16	協議会新旧委員懇談会
7年度	4.29	道路整備オープニングセレモニー(3-34、たから一休付近) 商店街オリエンテーリング
	4.27	ポケットパーク「さくら一休」オープニングセレモニー 商店街オリエンテーリング
10年度	4.25	ぐるぐる広場・こぞう一休オープニングセレモニー 商店街オリエンテーリング
	1.27/3.26	京島商業祭(キラキラ・たから両会館のオープンに合わせて実施)
平成4～11年度の主な活動実績		まちづくり協議会 第39～50回 (計12回) 計画部会 第54～93回 (計40回) 商業部会 第27～55回 (計29回) 工業部会 第42～83回 (計42回) 共栄会 第1～82回 (計82回) まちづくりニュース No.10～16発行 (計7回) ミニニュース No.31～52発行 (計22回) 京島工業かわら版 第9～18号発行 (計10回)

昭和 56 年度～



「京島地区まちづくり協議会」は、まちづくり検討会が発展して、昭和 56 年にまちづくり計画の決定及び事業化の推進を図ることを目的に発足しました。初年度は、検討会案をタタキ台として「まちづくり計画の協議会案」を作成し、地元説明会を開催した後「まちづくり計画の大枠」として合意・決定しました。また、地元に根付いた活動を行うため、計画部会・商業部会・工業部会を設置し、3 部会がそれぞれの視点から京島のまちづくりへの取組みを始めました。

平成 4 年度～



各専門部会は、それぞれの活動目標に沿って、京島のまちづくりを担う後継者育成を含め、積極的な活動を行ってきました。

平成 4 年度には、工業者の次代を担う後継者グループ「共栄会」が組織され、子供まつりやリサイクル展を開催する等、工業部会とともに京島のまちづくりを盛り上げました。

まちづくり協議会の活動の概略(平成12年度～平成22年度)

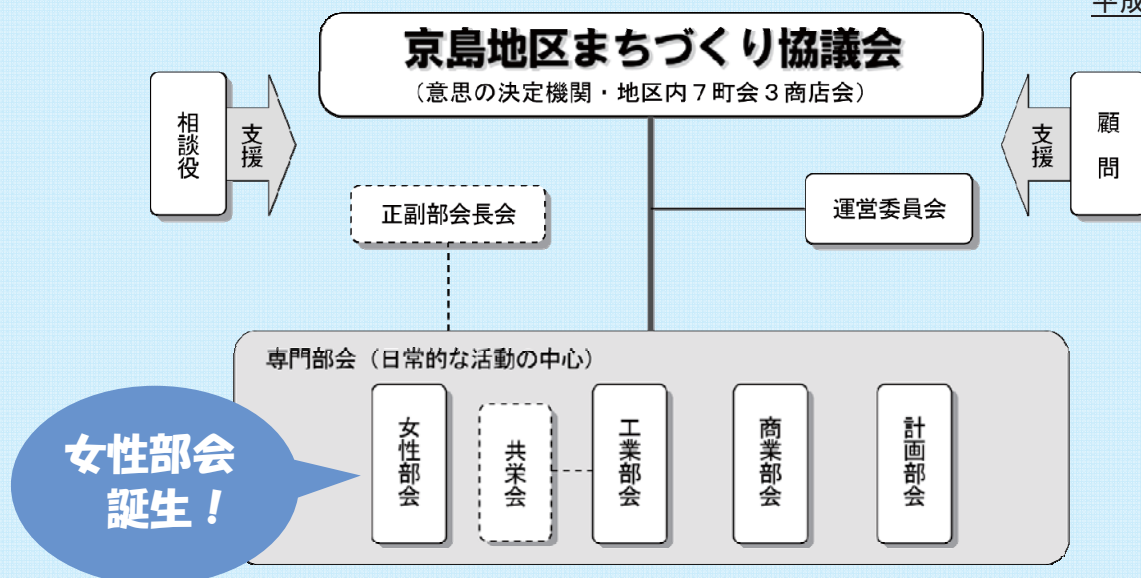
多彩なまちづくり活動の進展
(平成12～19年度)

年度	月日	取組事項
平成12年度	7.19	第1回女性部会開催
	1.26	4部会合同部会開催
13年度	4.22	道路拡幅整備(京島3-3,31)完成記念式典 京島商業祭の開催
14年度	4.8	マップ委員会開催(計15回)
	10.9	まちづくり公社20周年行事
	10.11/11.13	緑地検討会開催
15年度	4.19	緑地「やさい広場」(3-23)オープニングセレモニー
	6.8	エコロジーマーケット開催
	8.29	マップ委員会(まちあるき)
16年度	5.28	マップ委員会開催(ロジコミマップ完成)
14～16年度		共栄会によるオリジナル製品開発「京島よん丁目」
平成12～19年度 の主な活動実績	まちづくり協議会	第51～59回 (計9回)
	計画部会	第94～127回 (計34回)
	商業部会	第56～80回 (計25回)
	工業部会	第84～108回 (計25回)
	女性部会	第1～22回 (計22回)
	共栄会	第83回～(平成18年度まで活動)
	まちづくりニュース ミニニュース	第17～24号発行 (計8回) No.53～58発行 (計6回)

新・京島まちづくりのはじまり
(平成20年度～)

年度	月日	取組事項
平成20年度	6.5	協議会会則の改正 (工業部会・女性部会を統合し、地域活動促進部会の設置等)
	10.25～26	第18回京島文化まつり(作品展の他、イベントも実施)
平成21年度	10.31～11.1	第19回京島文化まつり
	2.12	第1回商店街活性化検討委員会開催
平成22年度	10.16～17	第20回京島文化まつり(町会、商店街との連携による模擬店の実施、橘銀座通りでのフリーマーケットの開催)
	11.15	キラキラ橘商店街理事会で商店街活性化検討委員会の答申を提案
	11.16	ロジコミマップ改訂の検討開始
	2.27	ロジコミマップ改訂に向けた京島地区まち歩き
平成20～22年度 の主な活動実績	まちづくり協議会	第60～62回 (計3回)
	計画部会	第128～139回 (計12回)
	商業部会	第81～83回 (計3回)
	地域促進部会	第1～12回 (計12回)
	商店街活性化検討委員会	第1～9回 (計9回)
	まちづくりニュース ミニニュース	第25～27号発行 (計3回) 計画部会 (計3回)
	ミニニュース	地域活動促進部会 (計1回)

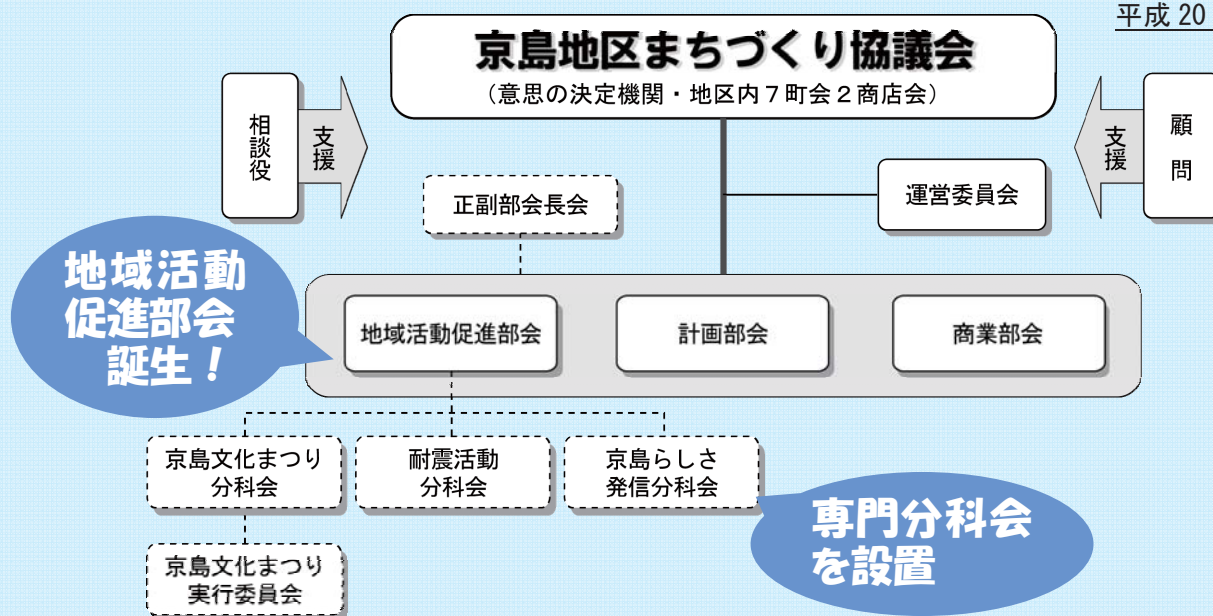
平成 12 年度～



平成 12 年度には、多彩な視点からまちづくりを行うため、新たに女性部会が設置されました。

また、京島を紹介したロジコミマップの作成や、共栄会によるオリジナル製品開発など、地区内外に情報等を発信する活動が目立ちました。

平成 20 年度～



平成 20 年度には、組織の改変が行われ、新たに工業部会、女性部会を統合した地域活動促進部会が設置されました。地域活動促進部会は、京島文化まつりや耐震活動、京島らしさの発信など、テーマをより具体化した専門分科会によって構成され、計画部会、商業部会とともに、京島まちづくりの新たな時代の活動を推進しています。

計画部会

計画部会からみる京島のまちづくり

活動の目標 「京島地区まちづくりを計画的に進めるための方策を検討する」

主な 出来事	S56 第1回 まちづくり協議会	S57 京島まちづくりセンター開所 墨田まちづくり公社設立	S62 コミュニティ住宅第1号が完成	H2 事業主体が区に移管される
まちづくり事業	<p>○計画部会の発足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の先行地区の検討 ・町会を中心とする話合いの場づくり ・住み良いまちをつくるためのルールづくりの検討 ・事業用地の利用計画 ・仮設用地の検討 		<p>○ポケットパークの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園や広場、親水空間の必要性 ・ポケットパークの名称決定 さくら一休、こぞう一休、ぐるぐる広場、やさい広場などの命名をしました。 	
	<p>○まちづくり宣言板の設置(S63)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのPR 「地区内にPRする宣言塔」 	<p>○雨水を利用できる小広場の完成(H6)</p>  <p>第3コミュニティ住宅 (京島二丁目)</p>		
視察・見学	<p>○一寺・言問の路地尊の見学(H5) “水と緑を活かしたまちづくり” コミュニティ住宅の建設にあたり、 雨水利用について検討しました。</p> <p>○まちづくり先進地区の視察(H4) (神戸市真野地区)</p>		<p>○まちづくり先進地区の視察(H6) (名古屋市浜地区)</p> <p>○施設見学会(H6) (足立区関原地区)</p>	
	イベント	<p>○京島まつりの開催(H1～H2) (京島文化祭の前身)</p> 		<p>○京島文化祭の開催(H3～H19)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・商店街や地元郵便局、第四吾孺小学校、大学等、たくさんの団体と連携して取り組んできました。 ・年々出展者や作品の幅が広がり、恒例行事となりました。
その他		<p>○阪神・淡路大震災への対応(H7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真野地区への義援金 ・神戸市民語り部キャラバン隊を招いて被災体験を聞く会 ・阪神・淡路大震災の教訓を京島のまちづくりに活かしていくことについて話し合いました。 		

計画部会は、協議会発足時のまちづくり計画案の審議をはじめ、京島まちづくり全体の計画を検討する部会として、昭和56年度に発足しました。

まちづくり事業計画の検討に加え、京島まちづくりのヒントとなる先進地区への視察や勉強会、京島文化まつりなどのイベント等、幅広い取組みを行ってきました。

H7.1.17
阪神・淡路大震災発生

H16.10.23
中越地震発生

H23.3.11
東日本大震災発生

(年度)

○コミュニティ施設の検討

第1回 日本耐震グランプリで
優秀賞を受賞しました。

○京島こわれないまちづくり(H17~)

- ・こわれないまちづくりニュースの発行
- ・こわれないまちづくりイベントの開催
- ・地元の大工さんとの連携
- ・キラキラ橋商店街での耐震モデルハウス展示
- ・長屋耐震改修

墨田区が新防災対策として進める「こわれないまちづくり」に同調し、従来からの地元主体のまちづくりとして「住宅の耐震化や室内安全化」をテーマとした地元活動を活性化させました。



起震台
「ぐららん1号」

○合同施設見学会(H12)
(葛飾区東四ツ木地区の密集市街地、テクノプラザかつしか)

○平塚耐震補強推進協議会の視察(H18)

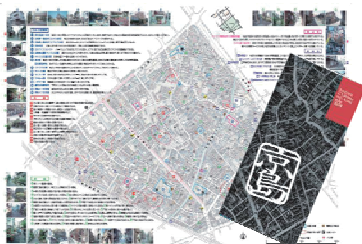
○まちづくり先進地区の視察(H10)
(豊島区東池袋の密集市街地、池袋防災館)

○新潟県中越地震被災地「川口町荒谷」の視察・交流会(H19)

○京島こわれないまちづくり寄席(H17)



- ・「こわれないまちづくり」の一環で、起震車での家具転倒デモンストレーションや“まちづくり寄席”を開催しました。
- ・平成19年3月3日には、京島こわれないまちづくりフォーラムを開催しました。



◆京島ロジコミマップ販売(H16)

まちの財産である路地とコミュニティ、古いものや懐かしいもの等、マップ製作委員会を中心に情報を集め、「京島ロジコミマップ」としてまとめました。

◆京島ロジコミマップの見直し(H22)

平成22年には、マップ改訂に向けて、まちの変化や京島の魅力を見つめ直すまち歩きを行いました。

商業部会

商業部会からみる京島のまちづくり

活動の目標 「京島地区まちづくりの商業計画を検討し、
京島地区商業の活性化を図る」

主な 出来事	S56 第1回 まちづくり協議会	S57 京島まちづくりセンター開所 墨田まちづくり公社設立	S62 コミュニティ住宅第1号が完成	H2 事業主体が区に移管される
京島の商業の活性化	<p>○商業部会の発足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商業者からみた全体計画 ・ まちづくりの中での焦点 ・ 商店街の抱えている問題点の整理 ・ 「京島地区商業調査」の内容検討 <p>○個別テーマに応じた勉強会の実施 (S59～60)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京島地区商店街のモデル実施プランの検討 ・ 3商店街に属さない商業者の組織づくり ・ 勉強会の実施 		<p>○カラー舗装の実施(H2)</p> <p>都のコミュニティ事業（商業振興）の指定を受け、都・区・地元の三者負担でキラキラ橋商店街がカラー舗装されました。</p> <p>○商業者の抱える諸問題についてのアンケート調査の実施(H3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの目的、内容の検討 ・ ダイエーファイナンス跡地の利用計画 ・ 商店街の建築計画のルールづくりの基礎資料 ・ 対応可能な施設整備の要望を探る 	
視察・見学	<p>○他地区の商店街の視察(H3) (広島市段原地区)</p>		<p>○水と緑のまちづくり商店街整備見学会(H5) (横浜市港北区大倉山商店街) (世田谷区太子堂)</p>	
イベント	<p>○京島まつりへの参加(H2) (京島文化祭の前身)</p> <p>3商店街がまとまって参加しました。</p> 		<p>○商店街オリエンテーリングの開催(H7～10)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 3商店街が協力してイベントを実施しました。 <p>H7 道路整備完成(3-34)セレモニー H8 さくら一休オープニングセレモニー H9 工業部会のこどもまつり H10 ぐるぐる広場のオープニングに合わせてイベントを開催しました。</p>	

商業部会は、協議会発足時のまちづくり計画案の審議をはじめ、京島地区の商業の活性化方策について検討する部会として、昭和56年度に発足しました。

商業に関する計画検討や勉強会のほか、他部会や3つの商店街との連携等によって様々なイベントを行う等の取組みを行ってきました。なお、平成20年度の組織改変からは、2つの商店街から委員が選出されています。

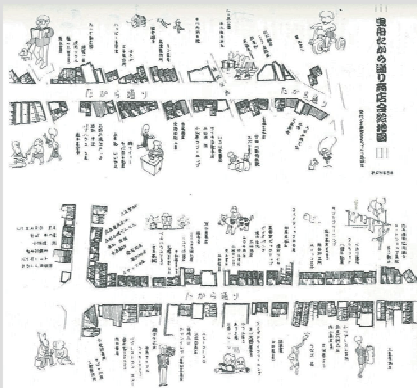
H7.1.17
阪神・淡路大震災発生

H16.10.23
中越地震発生

H23.3.11 (年度)
東日本大震災発生

○商店街マップの作成(H4)

商店街のイメージ構想図づくりのたたき台に利用



○京島地区商店街活性化検討委員会 (協議会の諮問機関) (H22.2)

商店街の活性化事業の一環として、“地域と共に生きる商店街づくり”を基本理念とする、中期計画基本構想を作成し、商店街に提案をしました。

○商店街の後継者の育成

○他地区の商店街の視察(H8)
(豊島区巢鴨地藏通り商店街)

○合同施設見学会(H12)
(葛飾区東四ツ木地区の密集市街地、テクノプラザかつしか)

○他地区の商店街の視察(H7)
(江東区砂町銀座商店街)

○他地区の商店街の視察(H9)
(葛飾区亀有地区商店街)

○京島商業祭の開催(H11、H13)



・たから会館、キラキラ会館のオープニングセレモニーなどに合わせて、商業祭を開催しました。

○京島文化祭でのスタンプラリーの実施(H16~21)

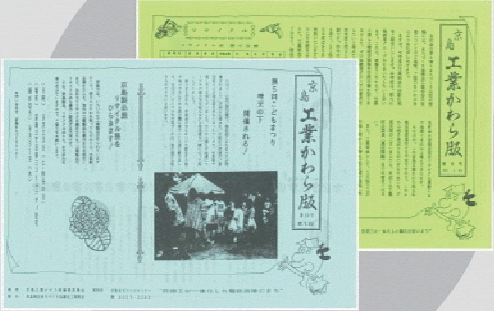



・地域の方たちと子どもたちとのつながりを強めるため、スタンプラリーを実施しました。

工業部会

工業部会からみる京島のまちづくり

活動の目標 「工業者のまちづくりへの参加方法を検討するとともに、
工業者の後継者づくりを検討・支援する」

主な 出来事	S56 第1回 まちづくり協議会	S57 京島まちづくりセンター開所 墨田まちづくり公社設立	S62 コミュニティ住宅第1号が完成	H2 事業主体が区に移管される
京島の工業の活性化	<p>○工業部会の発足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業者の抱える現状及び計画上の問題点 ・組織づくり ・工業者への個別訪問 ・工場アパートの可能性 <p>○工業かわら版(S61～)</p>  <p>○グループづくりによる工業の振興</p> <p>工業部会員が中心となって既組織のグループの活動を活発化し、新たなグループの育成を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京島ネットワーク61《ワークマップの作成》 ・京島創美工芸グループ《情報収集、共同受注》 <p>○工業者名簿の作成(S63)</p> <p>○「わがまちワークマップ」の作成(S61)</p> <p>地区内の工業者それぞれが分かり合い、ふれあうことや、地区内外の住民や事業者へのPRのために作成しました。作成の過程では異業種間の交流も生まれました。</p>			
	視察・見学	<p>○工場アパートの視察(S63) (品川テクノビル)</p> <p>○施設見学会(S60) (すみだ中小企業センター)</p> <p>○工業に関わる講演会の開催</p>		
イベント	<p>○京島子供まつりの開催(H3～13)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・後継者グループ育成のため、後継者たちが一同に集まり子供まつりに従事する事によって、親睦を深めながら、グループとしてのかたちを作り上げていくことを目標に活動を始めました。 ・けん玉や竹馬、ベーゴマなど、伝統的な遊びを子どもたちに教え、遊んでもらいました。 			

工業部会は、協議会発足時のまちづくり計画案の審議をはじめ、京島の工業を活性化させることでまちづくりに寄与する部会として、昭和56年度に発足しました。

工業者の抱える問題点の整理や勉強会の他、京島の工業のPRやネットワークづくり、工業者の育成、京島文化祭等の様々な取組みを行ってきました。

H7.1.17
阪神・淡路大震災発生

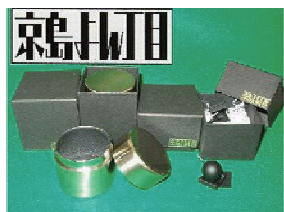
H16.10.23
中越地震発生

H20
組織改変
(地域活動促進部会に編入)
(年度)

○後継者グループの育成

工業の振興と地域活性化に寄与するための工業者の後継者グループとして、「共栄会」が平成4年に組織されました。

◆共栄会のオリジナル商品を開発 (H14~16)



地元で製品化した商品を「京島ブランド」として市場に流通させることで京島をアピールするため製作されました。

“京島よん丁目”は、産・官・学で協力しながら考案・製作を行った「京島地区発信のオリジナルブランド」です。

○施設見学会(H9)
(東京水の科学館)

○合同施設見学会(H12)
(葛飾区東四ツ木地区の密集市街地、テクノプラザかつしか)

○まちづくり先進地区の視察(H10)
(豊島区東池袋の密集市街地、池袋防災館)

○施設見学会(H8)
(中央防波堤埋立処分場)

○リサイクル展の開催(H5~10)




- ・工業部会員と地元工業者のコミュニケーションを図るため、平成2年度から工業かわら版を活用して、工作機器のリサイクル活動を始めました。
- ・平成5年からは、リサイクル品を1か所に集めて、展示会を行いました。

女性部会

女性部会からみる京島のまちづくり

活動の目標 「女性の立場からの『まちづくり活動』を協議・実施し、京島地区のまちづくりの推進に貢献する」

女性部会は、女性の立場からみた京島まちづくりを提案するため、平成12年度に発足しました。女性の視点から見たまちづくり計画に関する事項の検討を行い、“生活者の視点”でまちづくり活動を考え、平成19年度までの8年間、様々な取組みを行ってきました。

主な 出来事	H12 女性部会発足	H14 まちづくり公社20周年記念式典	H20 組織改変 (地域活動促進部会に編入) (年度)
生活者の視点でのまちづくり	<p>○女性部会の発足(H12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京島地区まちづくりの歴史的経緯や事業概要を知る ・京島地区まちづくり協議会の活動を知る ・道路拡幅整備工事完成に伴う記念式典の開催を検討 ・中心市街地活性化のまちづくり勉強会への参加 <p>○リサイクル等勉強会の開催(H18)</p>		
	<p>○リサイクル・清掃事業についての講演会の開催(H14)</p> <p>○合同施設見学会(H12) (葛飾区東四ツ木地区の密集市街地、テクノプラザかつしか)</p>		
視察・見学 イベント	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>○エコロジー・マーケット（フリーマーケット）の開催(H15～17)</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・「リサイクル」をテーマにした活動の一環として、工業部会と共催で「エコロジーマーケット」を開催しました。</p> </div> </div> </div>		

地域活動促進部会

地域活動促進部会からみる京島のまちづくり

活動の目標 「京島地区の活性化及び住民の交流を推進する」

地域活動促進部会は、京島のまちや人を取り巻く環境の変化に対応したまちづくり活動を推進するために、工業部会と女性部会を統合し、平成20年度に発足しました。計画部会、商業部会とともに3部会の連携によってまちづくり活動を進めています。

主な出来事	H20 地域活動促進部会発足	H23.3.11 (年度) 東日本大震災発生
京島文化まつり分科会	<p>○第18回京島文化まつり開催 (H20～)</p> <p>地域活動促進部会の発足後初めての文化祭で、この回より“京島文化祭”から“京島文化まつり”へ名称変更されました。従来の作品展示中心から、協議会委員の皆さんが参加するイベントを取り入れ、多数の皆さんが来場されました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
耐震活動分科会	<p>○「ぐららん1号」の運用検討(H20)</p> <p>計画部会と合同で「京島地区まちづくり協議会ぐららん号運用細則」を定めました。</p>	
京島らしさ発信分科会	<p>○東京スカイツリー建設に合わせた京島らしさの検討(H20～)</p> <p>東京スカイツリーの建設に合わせて、地区内観光に向けたボランティア案内人の設置を検討しています。</p> <p>○観光案内人の体験をした(H21)</p> <p>観光案内人を体験するため、川越の観光ガイドツアーに参加。</p>	

歴代メンバーからのメッセージ

愛するふるさと京島へ

京島地区のまちづくり30周年おめでとうございます。

協議会に参加して以来、京島のまちのために全力投球してきました。文化まつりやロジコミマップの作成、耐震補強活動等、様々な活動を、公社の方々と協調しながら進めてきました。

今後の京島のまちづくりへ熱望することは、京島地区のみなさんに、今日より明日に向けたまち興しへの想いをもち続けていただくことに尽きます。

元協議会 会長
藤井 正昭



地域で一つにまとまって

比較的新しいメンバーとして協議会に参加し、はじめは分からないことも多くありました。

まちの中であいさつや声かけができるのが京島の良いところ。防災や防犯、一人暮らし高齢者の見守り活動など、京島の良さを活かした活動に力を入れていくことが考えられます。町会と協議会が連携しながら、地域で一つにまとまって、顔見知りの関係をつくっていきたいと思っています。

計画部会 部会長
大谷 和美

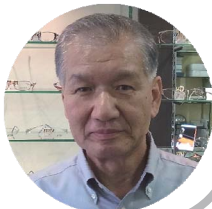


お客さんの心をつかむ商店街へ

京島の商店街も昔に比べ活気が薄れてきましたが、昨年度の部会活動には青年部の方も参加して頂き、今までにない顔ぶれで活動することができました。このような活動はぜひ継続していきたいと思います。

商店街のまちづくりへの影響は大きく、どこのまちを訪れても商店街が賑やかだと、そのまちに引き寄せられます。地域の個店の良さを見つめ直し、お客さんの心をつかむ商店街づくりを目指していきたいと思います。

商業部会 部会長
高野 雅曠



安全から安心へ、住みたいまち

道路拡幅の完成祝い後まもなく火事があったが、消防車が入って来ることが出来たため近所の住民の認識がガラッと変わったことがありました。まちが少しずつきれいになることで京島らしさといわれる雰囲気は薄れるかもしれないが、安全から安心へ、住みたいまちになっていくことと思います。

これからは、人の心や絆を大事にし、まちづくりによって人の心を育てていきたい。それがまちづくりの本質だと思う。

地域活動促進部会 部会長
佐藤 清美



連携力を高めた活動に期待

京島のまちづくりは、地域と話し合いながら少しずつ進めていく方法を取りました。7つの町会が協力してまちづくりを行うことは容易ではありませんが、まちづくりセンターを筆頭に、協議会と連携しながら進めていくことができました。

また、昨年度の文化まつりやまち歩きなどの活動を通して、改めて協働でまちづくりを行う意義を感じました。より一層、連携力を高めた活動を期待しています。

相談役（京島二丁目協和町会長）
大川 英雄



地元主導のまちづくり促進

協議会の皆様方には、住民参加のまちづくり促進のため、大変お世話になりました。

協議会は、京島に相応しいまちづくりを目指し、行政と連携して計画づくりや各種事業を進め、今では、地元活性化へ向けての様々な活動とともに、すっかり地元に着定してきました。ロジコミマップの作成や耐震モデルハウスの開設等が、懐かしく思い出されます。30周年を迎え、ますます地元主導のまちづくりに力を入れている現状を喜ぶものであります。

元墨田まちづくり公社まちづくり課長
中島 雄幸



京島地区まちづくり協議会の歩み

監修・発行
企画・編集
発行年月

財団法人 墨田まちづくり公社
株式会社 地域計画連合
平成23年3月
